

I-e ってどんな場所？

いろんな人が、いろんなことを個人的に考えて、こんなことを実現できたらいいだろうな、どうなるのかなってことをやってます。内容は人それぞれです。独自に考えた音楽とか、パフォーマンスが多いですが、特にそれにこだわってるわけでもありません。なんだかわけがわからないものや、一見くだらないこと、楽しいこと、今自分が面白いと思ってること、そこに関わって話したりして、そこに居合わせた人が何か新しい発見があればいいな、という場所です。

主なイベント



archetype

進揚一郎（ドラム、鉄琴、メトロノーム、映像など）主催のライブイベント。進の独自の指示書をもとに、演奏者はストップウォッチを見ながらまるで作業のように黙々と進の作曲作品を構築していく。



実験音楽演奏会

こんなことを音で再現したらどうなるか、例えば商店街を歩きながらマンホールを発見したら何か一音を出すとか、参加者自身の心臓のビートを実際に楽器等で再現してみるとか、カードゲームのルールを音で置き換えてみるとか。そういったことを、

参加者がそれぞれルールやコンセプトを考えてきて、実際にどんな音楽になるか、実験してみようという会。



Information

坂本拓也主催のディスコミュニケーションをテーマにしたユニットによるライブイベント。坂本拓也（キーボード、CDJ、映像、空間演出）、堀真理子（声）、小林寿代（ベース）、平野敏久（リズムマシン）が参加。

異物とのファーストコンタクトを描いた小説における認識不可能性、説明不可能

なものからインスピレーションを受けて結成。様々な模様の無意味な図文を担当楽器などで解釈する。

最近では鈴木學（自作音響装置）、中条護（図文作成）、高野真幸（図文作成）が参加し、演劇的要素が加わることも。



Koykedelic electric

古池寿浩（トロンボーン、ipad、tr-08）主催のテクノミュージックライブ。

様々なトロンボーン奏法と、サンプリングされ加工されたトロンボーンの音、リズムマシンによる様々なビートが楽しい。先の読めない展開が毎回新鮮です。



江崎将史ソロライブ

神戸六甲在住の音楽家、

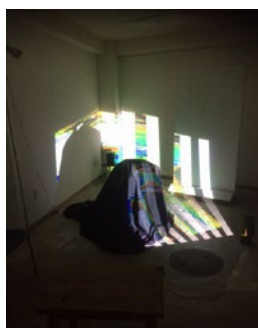
過去の主な企画：ボールペンソロ。図鑑朗読。テントソロ。扇風機ソロ。アルミ箔、ペグ、炭酸水など暮らしの中の商品を使い比べるソロなど。



SEGMENTS GENESIS

木下和重が提唱する segments（一つの出来事が一つの時間の長さとして区切られて無関係に繋ぎ合わされ展開していく構造）をもとに、身体パフォーマンス、音、映像等、様々なメディアが複合されたグループ。バカバカしい場面、

意味のわからない場面、かっこよい場面等が脈絡なく展開され、毎回なぜか笑いが起きる。メンバーは木下和重、古池寿浩、坂本拓也、鈴木學。武蔵野美術大学や、韓国のアートフェスティバル”dotolimpic”でもパフォーマンスを披露。



something & something else

木下和重、坂本拓也主催。

木下は”形になる前のモヤモヤした何か”を黒い布を被り、もぞもぞと動くパフォーマンスで表現。坂本は、木下とは無関係に様々な光と闇とオブジェで空間演出をする。物語性は一切ない。something（何か）と something else（他の何か）が存在するだけ。しかしシンプルがゆえ、そこには深い哲学がある（と思う）。



I-e 茶室 “市中の隠”

I-e 茶室は「茶道」ではなく、茶室が持つ意味を考えていきます。

茶室の歴史の中で、利休は四畳半から二畳、さらに利休の孫の宗旦が、一畳半という草庵茶室に行き着きました。

茶室の広さ大きさが縮まっていったことには、「狭く小さくなりながら実は広く大きいものを現している。」という思想がありました。I-e では一畳の茶室を作り、

その思想を体感できたらと思います。

I-e 茶室は、宗旦茶室に学び、”名無しの茶室” で在りたいと考えています。

常設展示

E zaki & The Family Stone



江崎将史が各地の海岸で採取した石の販売



高野真幸による漫画の吹き出しのカラージュ本、漫画の吹き出しのセリフによる句集。



I-e エル・イー／品川区豊町1-3-11スノーベル豊町B1
<1Fは『巨人のシチューハウス』>※大崎駅／戸越駅より徒歩12分

<http://www.i-e-osaki.org>
mail: info@i-e-osaki.org